

## 保育計画成果報告書

法人名等	株式会社きつずかん
施設名	KIDS-Kan
報告者（役職）	岸野 祐子 （園長）
住所・連絡先	宮城県仙台市若林区南小泉3丁目10-12
	☎ 022-208-3965 E-mail kidskan.3965@gmail.com

### ○タイトル（保育計画）

運動能力の向上はさまざまな危険から身を守る基礎を育む

### ○主な助成備品

バランスストーン 2セット かめさんウォーク カラーマット 2枚

#### 1. 保育計画策定の目的

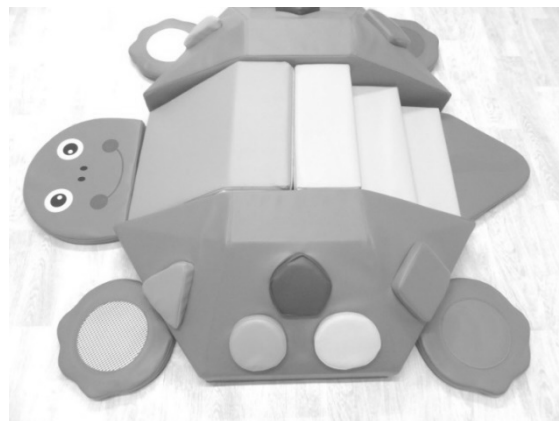
保育理念や方針に基づき、人格形成の基礎を育むための取り組みは日々行っているが、運動能力向上に関しては、敷地が狭いので屋外遊技場は十分な広さとはいえない。園庭には滑り台と砂場を設置している。

通常の主活動では、園庭遊びや晴天・雨天に係わらず戸外遊びに加えて、もう一つの運動遊び（室内）を展開できることを目的とした。

子どもたちの運動能力を向上させることで、さまざまな危険（転倒による怪我や事故等）から回避する、またその危険は大難を小難に、小難を無難に回避することで身を守るのである。そのためには日々の活動の在り方が重要と考えた。

#### 2. 具体的な実施内容

【かめさんウォーク …… 0歳児用】



かめさんウォーク（全容）



滑る



登る

【マット運動・・・1～2歳児用】



1～2歳児用 マット運動

【バランスストーン・・・1～2歳児用】



1～2歳児用バランスストーン



組み合わせ自由



バランス感覚を養う



渡る、飛び跳ねる等運動能力向上

### 3. その成果と評価

先述の通り、本園は園庭が狭いので、近隣の公園まで誘導ロープ等で歩いていかなければならない。目的地に到達するには往復30分を要するが、さまざまな形態の公園や広場では設置されている遊具が異なったり、大きな石が並ぶ場所がある。7ヶ所の形態の異なる公園や広場があることで、子どもたちは楽しみを飽くことなく追求している。また、住宅街にあることで行き交う人々と挨拶を交わしたり、交通安全のルールを学ぶことで社会性が育まれている。そのような日々の活動の中、子どもたちは着実に歩行の上達が見られるのである。1歳児は、誘導ロープの一つの輪を二人で掴んで真っ直ぐに、途中で断念せずに楽しそうに歩いていくことができる。2歳児は誘導ロープを使わずに、子ども同士で手を繋いで目的地まで歩いていけるようになった。

更に、生活習慣においては、オムツ交換時に0歳児後半から片足でバランスをとって立ちながら交換ができ、2歳児は壁に寄りかかりながら下着の着脱が可能となる。生活習慣における発達においても大きな成果となった。

幼児期に身に付けたい基本動作が36個ある。乳児は「立つ」「座る」「歩く」、幼児は「走る」「滑る」「蹴る」「投げる」「渡る」「転がる」「乗る」「積む」等々である。これらの基本動作を着実に身に付けていくためには日々の鍛錬は勿論、明確な目的をもって活動していかなければ運動能力は向上できない。助成して頂いた室内用遊具によって、基本動作と言われる「基本」の向上が推進された。

### 4. 今後の課題と展望

本園は、小規模保育事業の理念である「養護と教育の一体化」の取り組みの一環として、英語レッスンやリトミック他を取り入れている。それだけでは、子どもたちの人格形成には十分とはいえない。運動能力向上のための遊具を助成して頂いたことで、“静”と“動”の活動によって、子どもたちの成長に大きな発達の一助となった。

また、これを保護者の方々の理解に繋げようと「KIDS-Kanの取り組み」として、後期個別面談時に書面で伝えたり、園外の告知板に「子どもたちの様子」(次頁写真参照)を掲載して外部にも発信してきた。今後とも園としての活動を内外に伝えていく所存である。

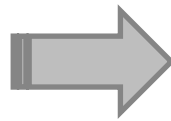
さらに、保育者一人ひとりがこの取り組みを十二分に理解して、日々の活動にうまく取り入れてい

くことが肝要である。今年一年で得られた成果を次年度へ活かしていく、継続していくことでますます運動能力が向上して、さまざまな危険から子どもたち自ら危険を回避できるように導いていくことを実証していきたい。

最後に、本園の取り組みを理解して頂き、助成して頂いたことに深く感謝の意を表したい。



園外告知板



園外告知板（拡大版）

以上